

RRFCからのメッセージ

第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC) 服部良男

本年度より舟木いさ子様の後任として、第2地域ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)を拝命しました第2760地区愛知三州ロータリークラブの服部良男です。

地区のロータリー財団委員会の経験はありませんが、ガバナーを務めた2016-17年度が丁度ロータリー財団100周年、ジョン・ジャームRI会長の時で、地区の皆さんとロータリー財団の寄付、奉仕活動にチャレンジしました。翌年より、ロータリー財団地域コーディネーター補佐(ARRFC)を3年間経験させていただきました。



本来なら、本年3月にRI本部エバンストンで研修をする予定でしたが、新型コロナウイルスの影響でオンラインでの研修に急遽変更になりました。当初はまだまだMy Rotaryのラーニングセンターでの研修も開発されたばかりで試行錯誤でしたが、後半は開発チームの努力により、ウェビナーや動画、テストなども充実してきて、後で見直しができるなどオンラインならではの良いところも確認できました。最後には、日本事務局財団室の皆さんとのオンラインセッションなどもあり、大変楽しいセミナーになりました。

さて、第2地域としては、水野功ロータリーコーディネーター(RC)、服部陽子ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)、野口英一恒久基金/大口寄付アドバイザー(E/MGA)ともオンライン会議を開催、今後も情報の共有とコラボレーションをさせていただきます。

佐野英之氏(秦野ロータリークラブ(RC))、高橋 茂樹氏(東京世田谷RC)、中村公彦氏(名古屋名東RC)に第2地域ARRFCをお願いいたしました。皆様、地区のロータリー財団活動経験者で、大変心強いチームです。

第2地域では一昨年より、9地区の地区ロータリー財団委員長とRRFC、ARRFCでFF9というチームを作り、交流をしてきました。今年度もこのチームを継続して、オンラインという新しい形のネットワークを利用しながら、コーディネーターの職務を果たしていきたいと思っています。

日本のロータリアンの皆様にとって新しい扉を開く一年になればと願っています。

RIレポートは、My ROTARYから随時ご確認いただけます。

[My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証 ロータリークラブの手引き](#)

寄付総額 世界上位3ヶ国

	2020年7月25日現在	
アメリカ	\$	2,594,147
韓国	\$	1,522,818
日本	\$	652,766

日本の状況

冠名基金数 203

※地区、クラブが設立した冠名基金含む

AKS会員数 48

PHS会員数 974

2020-21年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億3,500万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団から2倍の金額の上乗せ含む)
- ・恒久基金:8,500万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:4,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):4億1,000万ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へDDF寄贈
- ・各地区がDDFを使い切る
- ・グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

お知らせ

ロータリーは、会員にとって安全かつ適切な決定を行うために、世界保健機関(WHO)と米国疾病対策センター(CDC)による最新情報と勧告を注意深くモニタリングしています。ロータリーの運営、イベント、会員に対する新型コロナウイルス(COVID-19)の影響について、[最新情報をこちら](#)からお読みください。

My ROTARY [「3D プリンターを駆使して医療現場を救う」](#)

【My ROTARYの新機能： 近日中に利用可能に】

より動きが早く、ナビゲーションが簡単で、モバイルでもアクセスできる My ROTARY が、7 月後半に利用可能となります。更新後のサイトでは、改良されたさまざまな機能をお使いいただけます。[ぜひご利用ください。](#)

【環境の保全」が新しい重点分野に】

ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は、「環境の保全」という新たな重点分野を追加しました。プロジェクトのための補助金申請は、2021年7月1日から受付を開始します。この新たな重点分野におけるグローバル補助金を支えるため、ロータリアンやその他の方々からの寄付や誓約を今後募っていくこととなります。この新しい重点分野に関する詳しい情報は、近日中に公開されます。記事は[こちら](#)

【2020年ロータリーバーチャル国際大会】

6月20日から26日まで“今こそ「ロータリーは世界をつなぐ」：2020年ロータリーバーチャル国際大会”が開催されました。[本会議](#)や分科会の録画の視聴も可能です。また、7月末まで実施されている分科会の[スケジュール](#)もご覧ください。

My ROTARY [「ロータリー初のバーチャル国際大会が革新とつながりのインスピレーションをもたらす」](#)

【フランク J. デブリン元RI会長が逝去】

元国際ロータリー会長であるフランク J. デブリン氏が、5月27日に逝去されました。デブリン氏は会長として、時代の先を読み、人道的問題に迅速に取り組むことを会員に呼びかけました。記事の続きは[こちら](#)

【グローバル補助金に関する最新情報】

ロータリーのグローバル補助金の成功によって、国際財団活動資金(WF)からの上乗せが劇的に増加したため、財団管理委員会は補助金に関するいくつかの変更を決定しました。詳細は [4 ページの補助金](#) をご参照ください。

【災害救援補助金の COVID-19 支援終了】

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)を対象とする「[ロータリー災害救援補助金](#)」の申請受付は終了しました。クラブや地区は引き続き、地区補助金やグローバル補助金を利用して、COVID-19に関連するプロジェクトを実施することができます。

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)
[ブランドリソースセンター](#)
[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[EU 一般データ保護規則 \(GDPR\) について](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[携帯用カード](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

[地区ロータリー財団委員会要覧](#)

[地区ロータリー財団セミナーの手引](#)

(zip)

[寄付・認証 ロータリークラブの手引き](#)
[ウェビナー「クラブのためのよくわかる](#)
[寄付と認証」\(ppt\)](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、「[各種レポート](#)」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- 寄付者履歴レポート
- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クラフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など

レポートの閲覧方法は[ロータリークラブの手引きp.31](#)をご参照ください。

寄付・認証

【確定申告用の領収証】

2020年1月1日から6月30日までの個人の方からいただいたご寄付について、8月上旬に確定申告用の領収証がクラブ事務局宛てに発送されます。必ずロータリアンの皆様へお渡しください。また、確定申告まで失くさないように気をつけて保管してください。

【寄付・認証 ロータリークラブの手引き 2020-21年度版】

[本年度版の手引き](#)が完成しました。寄付・認証に関する事項を最新情報(2020年6月時点)へと更新しております。日頃多く寄せられる寄付・認証に関するお問い合わせを1冊にまとめることで、なにか疑問に思った際にすぐに手に取り解決が図れるようにすることを目的としております。ぜひご活用ください。

～目次～

- I. 寄付(寄付者、寄付分類、寄付の方法、領収証)
- II. 認証(個人の認証、法人の認証/感謝状、クラブのバナー認証/感謝状)
- III. データ・レポート(My ROTARY 各種レポート)

～よくある質問(例)～

- Q 確定申告用の領収証が届きましたが、寄付者がちがうようです。→P.19
 Q 会員のポール・ハリス・フェローのレベルがわかりません。次のレベルに上がるにはあとのくらい寄付をすればよいですか。→P.33
 Q 寄付をしたのに、ロータリークラブ・セントラルの達成欄に金額が表示されません。→P.45



ポリオプラス

【10月24日は世界ポリオデー】

新型コロナウイルスの世界的流行により世界ポリオ根絶のための予防接種活動が困難な状況となっていますが、ロータリーは引き続きポリオ根絶を最優先目標として掲げています。10月24日の**世界ポリオデー**には、例年、[日本](#)を含む**世界中のクラブや地区**がイベントを実施しており、今年も工夫を凝らしてポリオへの認識向上や募金を行うことができます。例年と同じく、今年もポリオ関連のイベントや活動を[こちらのフォーム](#)からご報告ください。フォーム入力を推進するために[クラブに配布できるチラシ](#)もご利用いただけます。

バーチャルでもできる

去る6月にロータリー初の「[バーチャル国際大会](#)」が開かれましたが、世界ポリオデーのイベントをオンラインで行うことも可能です。オンラインでのイベントや活動も、[こちらのフォーム](#)から情報をお寄せいただけます。

新型コロナウイルスとポリオ

これまでにロータリーをはじめとする[世界ポリオ根絶推進活動\(GPEI\)](#)によって築かれてきたポリオ根絶のためのインフラは、[新型コロナウイルス対応](#)においても、ウイルスの追跡やサーベイランスのために役立てられています。ロータリーは、[1918年のスペインかぜ](#)、ポリオ、[新型コロナウイルス](#)など、ウイルスの世界的流行時に率先して行動を起こしてきました。世界ポリオデーには、こうしたロータリーの活動を紹介することもできるでしょう。



今からご計画を!

- >> [ツールキット](#) (8月より利用可能)
- >> [ポリオ根絶へのオンライン寄付](#)



【たった2滴のワクチンがああの時あれば】

ロータリーボイスに石毛良治さん(東京後楽ロータリークラブ)の記事が掲載されました。以下は記事からの抜粋です。

『ロータリーの友』2019年11月号に載っていた「内外よろず案内」の「インドでポリオワクチン投与をしませんか」という記事をふと見つけるまでは、まさか自分がインドに行くとは思っていませんでした。

それまでロータリーの奉仕活動はそれぞれのクラブで決めた方針に沿って行われるものと思っていた私にとって、個人の活動は初めての経験です。問い合わせ先に連絡してみると、幸いにもまだ参加者を募集中で、妻が背中を押してくれたこともあり、思い切ってインド行きを申し込みました。」

記事の続きは[こちら](#)

【野生株によるポリオ症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2020年 1月1日～ 7月21日	2019	2018	2017
常在国	パキスタン	58	147	12	8
	アフガニスタン	29	29	21	14
	ナイジェリア	0	0	0	0
世界合計		87	176	33	22

【ロータリーのポリオ根絶活動の立ち上げに尽力したレヌーフ元RI会長が逝去】

世界的ポリオ根絶活動をロータリーの最優先目標へと押し上げることに貢献した1978-79年度国際ロータリー会長のクレム・レヌーフ氏が、99歳で逝去されました。

レヌーフ氏はナンバー・ロータリークラブ(オーストラリア・クイーンズランド州)の70年来の会員でした。RI理事、財団管理委員、地区ガバナー、RI委員会委員および委員長、国際協議会討論リーダーを歴任されました。

記事の続きは[こちら](#)

補助金

【補助金に関する最新情報】

- グローバル補助金は、導入された2013-14年度から2018-19年度までに、80%増大した一方で、それに対応するための寄付の成長は同期間に10%でした。これにより、国際財団活動資金(WF)の予算が、申請に対して十分に支えられない状況が生じています。
このような状況において、需要が再び供給を上回った場合にどのように対応するかを考慮し、管理委員会は以下のことを決定いたしました。

<WFの最低授与額の廃止>

グローバル補助金のためのWFの最低授与額が、即時有効で廃止となります。最小のプロジェクト予算の30,000ドルに変更はなく、最低予算が30,000ドルで、WFの最高授与額が40万ドルとなります。

これにより、申請者は、DDFのほか、現金、冠名指定寄付、冠名基金の

リソース

<資料>

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHSパンフレット](#)

[PHS入会フォーム](#)

[PHS認証状テンプレート](#)

[END POLIO NOW](#)

[2019-20年度 ロータリー賞](#)

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から同額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: DDF1+WF1+ゲイツ4=6

※WFからの組み合わせ上限額は1,000万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

- [DDFのオプション](#)
- [レポートの開き方](#)
- [DDFオンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

収益を組み合わせ、資金を調達することができます。

資金調達の例：

DDF10,000ドル+WF10,000ドル+現金拠出10,000ドル=30,000ドル

DDF 5,000ドル+WF 5,000ドル+現金拠出20,000ドル=30,000ドル

<代替の資金調達方法>

再び需要がWFの供給を上回る状況に陥った場合、グローバル補助金提唱者がWFの上乗せなしで資金を調達することを奨励します。つまり、提唱者は、DDF、現金、冠名指定寄付、または冠名基金の収益を使って、最低30,000ドルの予算を調達できます。この方法により、DDFがある提唱者は、WFが利用できなくても、別の資金源を組み合わせ、DDFを用いてグローバル補助金活動を行うことができるようになります。

<現金拠出に対する上乗せを停止>

現金拠出に対してWFからの上乗せを停止することを決定しました。この変更は、2020年7月1日から有効となっています。すでに承認されている補助金については、この変更は適用されません。また、上乗せはありませんが、現金拠出は引き続き行うことができます。地区財団活動資金(DDF)には、引き続き同額(1対1)のWFが上乗せされます。

<援助国の拠出割合を引き下げ>

グローバル補助金の人道的プロジェクトの申請にあたり、海外の援助国側提唱者が拠出額の少なくとも30%以上を拠出するという条件が、15%に引き下げられました。

- 昨年度中に提出され保留となっていた申請書が、今年度開始後に承認されたことや引きつづき新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対するプロジェクトの申請が多数よせられていることから、今年度の予算も年度末を待たずに枯渇する可能性があります。特にグローバル補助金-奨学生で、新型コロナウイルス(COVID-19)の影響から2021年に留学の出発を延期される方もいらっしゃると思います。昨年度準備中の申請書をそのまま使うことができますので可能な限り早くにご提出ください。
- 3年間の試験運用期間の活動の評価の結果、管理委員会は、低廉簡易住宅と簡易校舎の建設に対するグローバル補助金利用を継続しないことを決定しました。クラブや地区は、引き続き地区補助金やロータリー災害救援補助金を利用してこれらの活動を支援することができます。
- 2022年7月から、ロータリーアクトクラブは代表提唱者としてグローバル補助金を申請できるようになります。詳細は後日お知らせする予定です。
- 地区補助金の支払いにあたり、口座名義の確認のため、通帳の補助金受領口座名の分かる部分の写しを、申請書の「補足文書」にアップロード(添付)していただくようお願いいたします。申請書提出後でもアップロード可能です。
- グローバル補助金の支払いを日本で受け取る場合は、代表連絡担当者が、<実行アイテム>から口座情報を入力する際に、通帳の補助金受領口座名の分かる部分の写しを、入力画面下部の「アップロード」ボタンからアップロード(添付)していただくようお願いいたします。

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)

[地区補助金とグローバル補助金授](#)

[与と受諾の条件](#)

[補助金による旅行](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野別ガイド](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[アイデア応援サイト](#)

[プロジェクトの流れ\(ライフサイクル\)](#)

[ロータリーショーケース](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[重点分野の担当職員](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[グローバル補助金申請のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェローシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<資格認定>

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)

[クラブの覚書\(MOU\)の実施に関する指針](#)

[クラブの覚書\(MOU\)ワークシート](#)

[クラブの参加資格認定 よくある質問](#)

口座情報提出後は、アップロードできませんのでご注意ください。

- [ロータリーショーケース](#)に、これから実施予定のプロジェクトを掲載しパートナーを探す機能が追加されました。グローバル補助金のパートナーを探しているプロジェクトも掲載できますし、支援を求めているプロジェクトを探すこともできます。これにより、アイデア応援サイトは廃止となりました。

7月18日及び23日に各地区に配信されましたメールもご参照ください。また、これらの変更により、「[地区補助金とグローバル補助金授与と受諾の条件](#)」が順次更新されますのでご確認ください。

【補助金による旅行】

旅行を含む地区補助金またはグローバル補助金を提唱されている場合、渡航制限の状況を、「[Travel Ban List\(旅行禁止国・地域のリスト\)](#)」(随時更新あり)でご確認ください。

旅行を伴わない活動は、補助金承認後順次進めていただくことができますが、旅行が制限されている場合は、その国への補助金による旅行を延期し、計画の変更を地域別補助金担当職員にご連絡いただけますようお願いいたします。

国により、日本からの入国制限や入国後の行動制限などの措置が取られる場合もありますので、[外務省のホームページ「日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国・入域後の行動制限](#)」や受け入れ地区やクラブ、留学先の大学、協力団体などからの情報もよくご確認ください。

【表彰】

- ロータリー最優秀学友会賞 推薦期間：7月1日～9月15日
- ロータリー学友世界奉仕賞 推薦期間：7月1日～9月15日
- ポリオのない世界を目指す奉仕賞 推薦期限：10月1日

詳細、推薦手続きは、[My ROTARY「各種賞・表彰](#)」よりお願いいたします。

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。

2020年6月30日～7月17日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2590	横浜 鶴見北	藤林 豊明	2750	東京 世田谷	高橋 茂樹
2690	益田西	松本 祐二	2670	坂出東	前田 直俊
2580	東京 新都心	吉田 雅俊	2510	札幌北	出村 知佳子
2670	阿南南	篠野 忠弘	2580	東京 池袋	並木 正幸
2780	平塚西	山田 雅孝	2760	名古屋 北	中村 陽公
計 10 名					

オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

【寄付者の横顔】

世界中で実施されているロータリーの活動は、ロータリー財団への皆さまからのご寄付を通じて可能となります。「寄付者の横顔」では、強い意思を持って支援いただいた寄付者と支援の理由をご紹介します。

2017-18年度 第2580地区ガバナー 吉田 雅俊

2013年のロータリーの補助金モデル「未来の夢計画」で、わたしにとって地区補助金が身近なものとなり、寄付が活かされていることを実感させられました。

寄付と奉仕活動は、一連のロータリー活動であり、より良い奉仕活動は、より多くのロータリアンの寄付に支えられています。先ず地域に目を向け、そして世界に向かって行動する。ロータリーに国境はなく、行動人に限界はありません。

活動を支える寄付に対する認証もPHF、PHS、メジャードナー、AKS等とあり、継続は持続可能性に繋がります。ロータリーライフをエンジョイしましょう。

<視聴覚資料>

[ウェビナー\(オンライン研修\)](#)
[My ROTARY 写真&動画](#)
[Rotary Video\(日本語\)](#)
[ロータリーの動画\(vimeo\)](#)
[重点分野の動画\(YouTube\)](#)

今後の予定

9月14日 ～15日	GETS(オンライン)
10月24日	世界ポリオデー
11月25日	第49回ロータリー研究会(オンライン)

国際ロータリー日本事務局財団室
 〒108-0073
 東京都港区三田 1-4-28
 三田国際ビル 24階
 Email: RLJPNTRF@rotary.org
 Tel: 03-5439-5805
 Fax: 03-5439-0405



2019-20年度より地区財団委員長代表を務めるグループ会社で「水と衛生」のための冠名基金を設立、また、本年度地区への貢献のためにご夫妻で別途冠名基金を設立、アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)会員となる。

参考資料:

[寄付者の認証](#)

[アーチ・クランフ・ソサエティとは?](#)

※冠名基金の設立をご希望される際は、財団室までご相談ください。

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。お名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。